

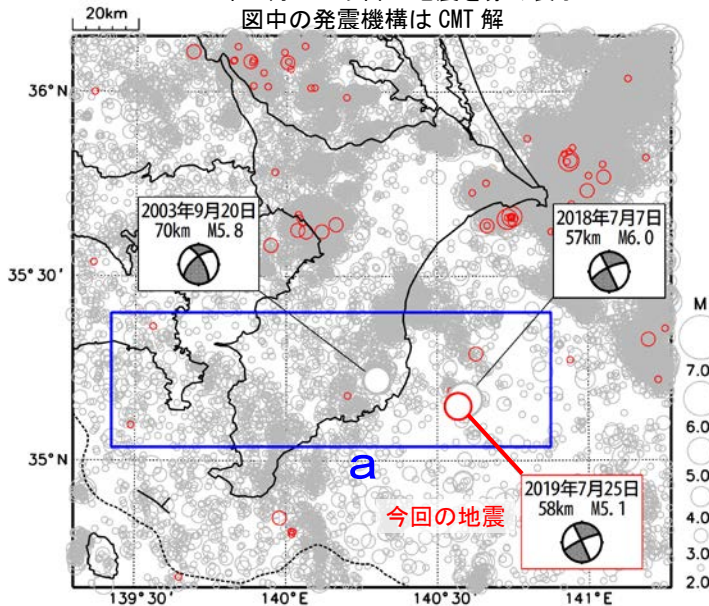
7 月 25 日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)

2019 年 7 月 1 日以降の地震を赤く表示

図中の発震機構は CMT 解

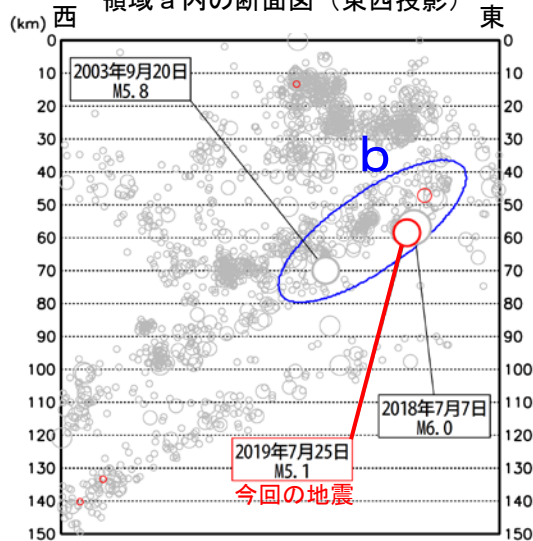


2019 年 7 月 25 日 07 時 14 分に千葉県東方沖の深さ 58km で $M 5.1$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

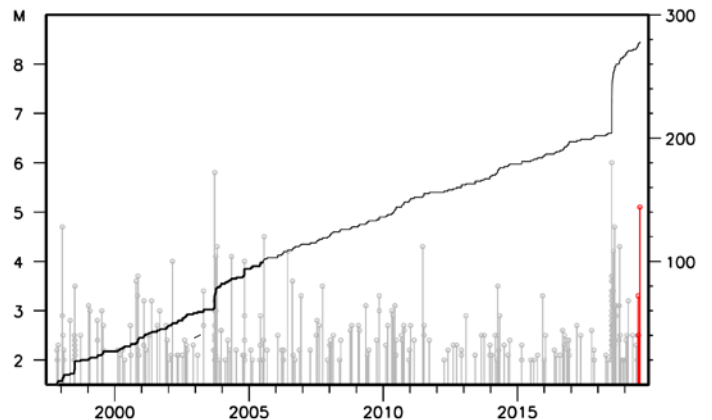
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2018 年 7 月 7 日に $M 6.0$ の地震 (最大震度 5 弱) が発生しており、また、2003 年 9 月 20 日に $M 5.8$ の地震 (最大震度 4) が発生し、負傷者 8 人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1922 年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域 c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が 4 回 (今回の地震を除く) 発生しており、このうち 1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震 ($M 6.7$ 、最大震度 5) では、死者 2 人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家一部破損 7 万余棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の断面図 (東西投影)



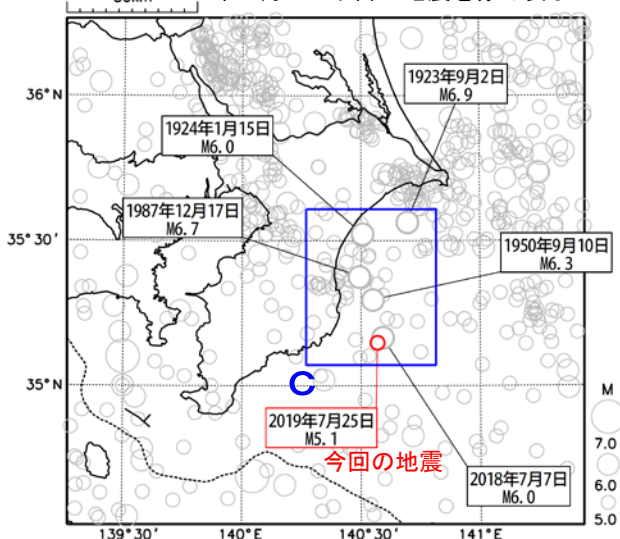
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)

2019 年 7 月 1 日以降の地震を赤く表示



領域 c 内の M-T 図

